

令和 元年度
事 業 計 画 書

新潟市南区社会福祉協議会

平成31年度南区社会福祉協議会事業計画

【基本方針】

「地域共生社会」の実現に向け、多様化する生活課題や複合的な課題に対応するため、包括的な支援体制の構築や福祉教育等の推進による福祉人材の確保、育成など地域と協働し、助け合いの仕組みづくりを推進します。

また、新潟市社会福祉協議会総合計画を推進するとともに、南区地域福祉計画・地域福祉活動計画（アクションプラン）の検証を行いながら、支え合い、共に生きる社会を目指し、見守り活動の支援やふれあいきいきサロン・地域の茶の間の支援、ネットワークづくりを通して、地域の福祉力を高め、「お互い様」と言える支え合いのまちづくりを進めてまいります。

【重点目標】

○生活支援体制整備事業の推進

- ・「支え合いのしくみづくり」の必要性と推進のため区民向けのフォーラムを開催し、更なる周知と社会資源の把握・発掘に努めます。
- ・支え合いのしくみづくり会議を開催し、日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を一体的に図っていきます。
- ・地域福祉活動計画にある地区の課題解決に向けた取組を、支え合いのしくみづくり会議構成団体や地区社会福祉協議会とともに進めます。
- ・住民の主体的な活動を支援するため、第2層支え合いのしくみづくり推進員や行政、ボランティアコーディネーターと連携を図り、内外部の関係職員（コミュニティソーシャルワーカー、地域包括支援センター職員、地域生活センター職員等）と協働し推進していきます。

○ふれあい・いきいきネットワーク活動事業

- ・コミュニティ協議会や自治会、班などの単位で定期的な見守り活動を行い、誰もが安心して暮らせる地域づくりを支援していきます。
- ・地域の実情に合った見守り体制の仕組みづくりを推進するとともに、福祉施設、新聞販売店、薬局、消防等関係機関の協力を得ながら、重層的な見守り体制の構築を目指します。
- ・認知症に対する理解を深めるため、認知症サポーター養成講座のPRや認知症徘徊模擬訓練を、行政、地域包括支援センターと協働で実施し、認知症になつても安心して暮らせる地域づくりを推進します。

○あらゆる人の社会参加を支援（福祉教育）

- ・地域における福祉教育の必要性や重要性を周知し、様々な講座等を企画開催します。

《社会福祉事業》

区社協地域福祉推進活動事業

●地区社協活動交付金事業【4,832千円】

地区社協と区社協が協働で、地域の中で様々な活動事業を推進することにより、助け合い・支え合いの仕組みを作るため地区社協活動の運営を支援する。

●ふれあい・いきいきネットワーク活動事業（地域ふれあい助成事業）【305千円】

コミュニティ協議会や自治会及び班単位で実施される住民主体の見守りや助け合い活動の運営を支援する。

●地域福祉活動計画推進事業【102千円】

地区ごとに推進評価委員会の設置を依頼し、第2次地域福祉計画・地域福祉活動計画(アクションプラン)を推進するとともに、座談会等で進捗の確認を行う。

●地域包括ケア推進事業【1,033千円】

生活支援体制整備事業を受託し、支え合いのしくみづくり会議を通して、多様な日常生活上の支援体制の充実、強化及び高齢者の社会参加の推進を一体的に図る。また、フォーラムを開催し、広く区民へ周知、普及に努める。

区社協見守り・生活支援事業

●おせち料理宅配事業【1,193千円】

75歳以上の一人暮らし高齢者等が心豊かに正月を迎えるよう、民生委員や地区社協役員等による見守り活動とあわせておせち料理の宅配を行う。併せて、対象者に年賀状を発送する。

●子育て支援事業【205千円】

孤立している親子への支援や虐待防止、子育てしやすい環境づくりのためにサークル・サロン同士の交流を図る。

●緊急情報キット配布事業【5千円】

70歳以上の高齢者のみの世帯や障がい者のいる世帯等に、緊急連絡先やかかりつけ医、持病などを記載した用紙をボトルに入れ冷蔵庫に保管し、緊急時に救急隊等が確認できるようにする。

●サロン支援・助成事業【1,555千円】

高齢者や子育て世代の居場所や活躍の場であるサロンや茶の間の運営を支援する。その一環として、サロン・茶の間活動の充実に向け、住民主導による地域交流を月1回以上開催することを目指します。

● コミュニティソーシャルワーク推進事業【146千円】

認知症高齢者への理解を深めるための勉強会や徘徊模擬訓練の開催を検討することや、住民が主体的に地域課題を把握して解決していくような、働きかけを関係機関とともにを行う。また、保健・医療・福祉のつながりを深める会との共催で、多職種連携研修会を開催する。

● 心配ごと相談事業【148千円】

心配ごと相談の件数は減少傾向にあるが、相談員がより適切な相談対応ができるよう積極的に研修会等に参加する。

● 世代間交流事業（地域貢献事業）【60千円】

子どもから高齢者まで、多世代の交流を目的としたイベントを行う。

● 生活福祉資金貸付事業【27千円】

低所得者や障がい者世帯へ資金の貸付を行うことにより、世帯の自立・社会参加を促進する。

● 行旅人旅費貸付事業【2千円】

低所得者や紛失等で現金を携行できない行旅人に対し、一人あたり500円を貸付け、目的地までの交通費の一部とする。

● 高校進学のための相談支援事業【12千円】

高校進学のための経済的支援の一覧表の全市共通版を作成し、一覧表を各中学校に周知及び配布を行い、生徒・保護者に情報が行き届くようにする。また、奨学金等の申請にあたり、支援が必要な世帯とコミュニティソーシャルワーカーがつながり、個別支援を行う。

区社協ボランティア・市民活動事業

● ボランティア・市民活動センター運営事業【120千円】

ボランティア活動を安心して行うための保険登録の推進や情報誌を発行することで区内のボランティア活動の周知を図る。身近なボランティアに関する情報を紙面にて発行し、ボランティア活動の理解を深め、各関係機関に配布し周知を行う。

● 災害ボランティアセンター運営事業【803千円】

災害ボランティアセンター設置マニュアルの活用を進めるため、関係機関との定期的な会合を開き、日常的な協働関係をつくる。併せて、災害用備品の整備を図る。また、それぞれのスキルアップのためニーズ検討などの研修会を実施する。

● ボランティア・市民活動育成事業【261千円】

ボランティアきっかけづくり講座、ボランティア研修会、サマーチャレンジボランティア（学生対象）等の講座を開催し発掘育成を行う。また、ボランティア・

サロン交流会や中学生ボランティア交流会等をとおして、ボランティア同士の交流や情報の共有化を図る。

●福祉教育推進事業【100千円】

学校や企業などを対象に福祉教育を行い、地域福祉やボランティアの啓発普及に努める。

区社協広報・啓発活動事業

●地域福祉推進フォーラム事業【352千円】

「南区健康福祉フェア」を開催し、区民が福祉・健康について関心をもつてもらうよう働きかける、併せて南区社会福祉大会を実施。

●広報事業【553千円】

区社協だよりを年3回発行し、区民に地域福祉やボランティアに関する情報を提供し、理解と参加を促す。

区社協運営費

●区社協運営事業【4,683千円】

区社協や地区社協の活性化を図るため、理事会・地区社協会長会・コミュニティ協議会長との連絡会等を実施する。

●役職員研修事業【661千円】

役職員の資質向上を図るため、県民福祉大会や各種研修会に参加する。

《公益事業》

区社協地域福祉推進活動事業

●南区生きがい通所事業（市委託事業）【4,440千円】

高齢者の閉じこもり防止と介護予防、健康増進を図ることを目的に、レクリエーションや健康体操などの各種サービスを提供する。